

キク科 ヲジバカマ属

# ヒヨドリバナ (鴨花)

*Eupatorium makinoi* T.Kawahara et Yahara

## 自生環境

林縁、野原 など

## 原産地

日本在来

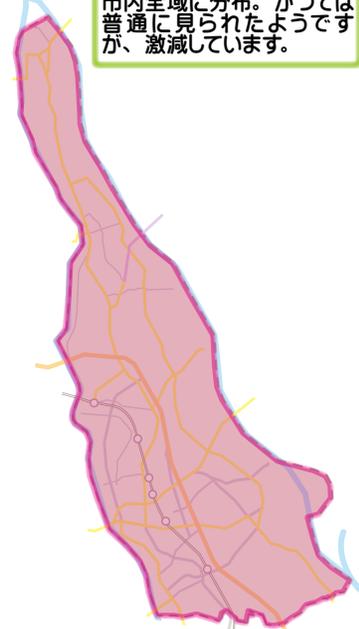
## 生育を脅かす要因



かつては比較的普通に生えていたようですが、すっかり激減してしまいました。自生地が開発・埋め立て、ササ類や外来種の繁茂による荒廃が主な原因と考えられます。

## 市内の分布状況

市内全域に分布。かつては普通に見られたようですが、激減しています。



## 特徴

- ★ 里地里山の日当たりのよい場所に生える多年草で、茎は直立し、高さ 1m 以上になります。葉は明るい緑色で、ふつう分裂しません（多少分裂した葉が混じることも）。クマリンという成分を含んでいるため、乾くと桜餅のような甘い香りがします。
- ★ 8～10月頃、茎の先に白っぽい花をびっしりと咲かせます。花は長さ 5mm ほどの細長い筒状花で、ひとつの花のあつまり（頭花）には5個の筒状花がつきます。名前の由来には諸説あるものの、ヒヨドリが鳴きはじめる頃に咲く花というのが定番です。
- ★ 染色体数から倍数体のオオヒヨドリバナと、2倍体のキクバヒヨドリの2つの変種に分けられます。この変種概念を使う場合、従来から単にヒヨドリバナと呼ばれてきたものはオオヒヨドリバナになります。キクバヒヨドリは少数派で、草丈が低く、葉は深緑色で細かく切れ込みます。

## キンモンヒヨドリの正体

ヒヨドリバナの中に、葉脈に沿って黄緑色の模様が入る株が見つかることがあり、これを「キンモンヒヨドリ」と呼んでいます。一見すると斑入りの葉をつける品種のようですが、じつはこれウイルス感染症に罹患した株です。特徴的な葉の模様は、感染症の結果現れた症状のひとつにすぎません。他の種類の植物でも、ウイルス感染症によって斑入り葉のようになることがあります。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

